

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成31年3月14日 (2019.3.14)

【公開番号】特開2017-90860(P2017-90860A)

【公開日】平成29年5月25日 (2017.5.25)

【年通号数】公開・登録公報2017-019

【出願番号】特願2015-225190(P2015-225190)

【国際特許分類】

G 0 2 B 27/01 (2006.01)

G 0 2 B 5/08 (2006.01)

B 6 0 K 35/00 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 27/01

G 0 2 B 5/08 A

B 6 0 K 35/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成31年1月31日 (2019.1.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

観察者に対して情報を表示する表示装置であって、
 P 波の映像光を投射する映像源と、
 前記映像源から投射された映像光の一部を観察者側に反射させる光学シートと、
 を備え、
 前記映像源は、
 前記光学シートへ投射される映像光の入射角 a が、前記光学シートへ投射された映像光の反射率がゼロとなる入射角 b に対して、 $(b - 10) \sim 85^\circ$ の範囲となるように設定され、
 前記光学シートは、
 第 1 傾斜面及び第 2 傾斜面を有する単位光学形状部が複数配列された第 1 光学形状層と、
 前記第 1 光学形状層の前記単位光学形状部が設けられた側の面に積層された第 2 光学形状層と、
 前記第 1 傾斜面上の少なくとも一部に形成され、入射した光の一部を反射し、その他を透過させる反射層と、
 を備える表示装置。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の表示装置であって、
 前記第 1 傾斜面において、前記反射層及び前記反射層が形成されていない部分は、前記光学シートの厚み方向に垂直且つ前記単位光学形状部の配列方向に垂直な方向に延在すると共に、前記単位光学形状部の配列方向に並んで設けられていること、
 を特徴とする表示装置。

【請求項 3】

請求項 1 又は請求項 2 に記載の表示装置であって、

前記光学シートは、車両のウィンドウに設けられ、前記ウィンドウの観察者側に貼り付けられていること、
を特徴とする表示装置。

【請求項 4】

請求項 1 又は 2 に記載の表示装置であって、

前記光学シートは、車両のウィンドウに設けられ、前記ウィンドウにおいて、観察者側に配置される第 1 透明基板と、前記第 1 透明基板の観察者と反対側に配置される第 2 透明基板との間に配置されていること、
を特徴とする表示装置。